

最終報告

私たちの力

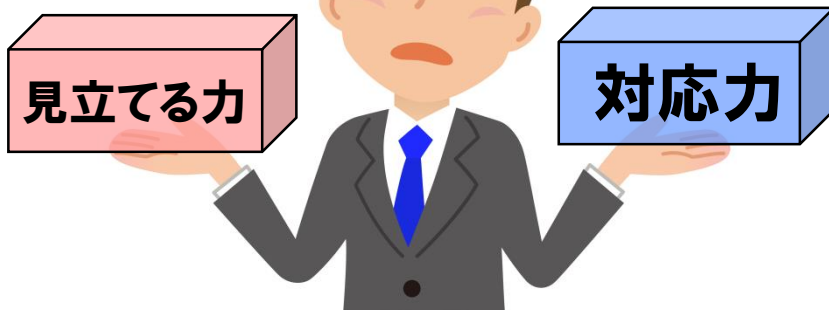
学校でいじめを未然に防止する!

これは、^{チーム}組織の共通認識による体制づくりを通して、いじめの未然防止を目指す一つの提案です。

どんな情報を共有して、
判断や対応に生かせば
いいんだろう？
何か観点があればなあ…

自分だけの考えで
「いじめ」の判断や
対応は決められない！
どうしたらいいだろう？

対応方針がまとまらない！
どうやって目標(ゴール)
を決めたらいいの？



いじめ未然防止 =

いじめ認識アンケート 事例ワーク チーム
(実態調査+校内研修) × 組織

いじめの組織的な未然防止に関する研究

～いじめを「見立てる力」と「対応力」の向上に役立つ事例ワーク～

URL : https://apec.aichi-c.ed.jp/kenkyu/chousa/kiyo/111syuu/111-3_ijime/ijime_index.html



いじめを「見立てる力」と「対応力」の向上に役立つ事例ワーク

I. いじめ事案の組織的対応を意識した2つの研修

(小・中・高で各2種類の全6種の架空事例を用意)

【研修1】

いじめを**見立てる力**

を高める校内研修

《研修の流れ》

- 情報整理(個人の判断)
- ①情報収集・状況整理
- ②深刻化のリスク
- ③初期判断(グループの判断)
- グループの振り返り

【研修2】

いじめへの**対応力**

を高める校内研修

《研修の流れ》

- 事実確認
- ①深刻化のリスク
- ②対応のための判断
- ③対応方針
- グループの振り返り

2つの研修の位置付け



架空事例一覧(概要)



II. 研修で得られるいじめ対応ツール(共通認識)

【ツール1】 いじめ事案の**初期判断**のためのフローチャート

《判断の**3観点**》



- ①本人の被害感(心身の苦痛)
- ②影響を与える行為
- ③客観性

【ツール2】 いじめ**深刻化のリスク**

「**見立てる力**」Ver



《**3つのキーワード**》

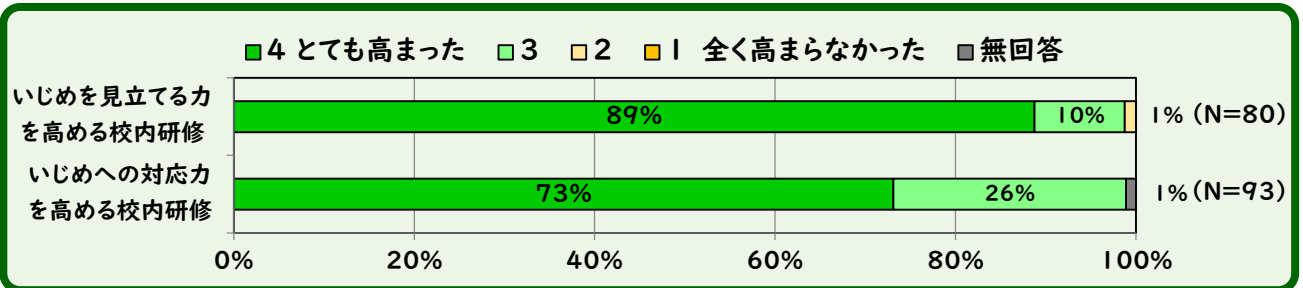
- ①行為の反復性
- ②アンバランスパワー(力関係の不均衡さ)
- ③シンキングエラー(人権に影響を及ぼす間違った考えや認識)

「**対応力**」Ver



III. 各研修の有効性

どちらの研修も、体験者の**99%**が組織で連携する意識の高まりを実感!!



IV. 研修の実際

実践報告書(工夫や課題, 参加者の声)を参考に, 研修を実施してみませんか!?

小学校	中学校	高校

詳細は

【事例ワークを活用した研修】

《**問い合わせ**》

- ① 所属(学校名)・担当(役職等)・氏名
- ② 連絡先(電話及びメール)
- ③ 問い合わせ内容

を記載し, 下記にメールしてください。担当者から連絡いたします。

【相談部 教育相談研究室】

✉ : soudan-kenkyu@apcc.aichi-c.ed.jp

※「見立て」「対応」の両研修がセットになっています。「高校」は2校分です。